

相馬方部衛生組合管理者  
相馬市長 立谷 秀清 様

公立相馬総合病院経営強化プラン評価委員会  
委員長 只野 裕一

令和4年度「公立相馬総合病院経営強化プラン」実施状況点検評価報告書

「公立相馬総合病院経営強化プラン」について、令和5年10月4日、12月1日及び令和6年1月31日に委員会を開催し、令和4年度の経営強化プランの実施状況について点検評価を実施したので、その結果を次のとおり報告する。

記

1 令和4年度公立相馬総合病院事業決算状況(消費税抜き額)

令和4年度公立相馬総合病院事業決算は、病院事業収益4,415百万円、病院事業費用3,952百万円となり、差し引き463百万円の純利益を計上した。

この決算状況を経営強化プランの収支計画と照合すると、病院事業収益については、収入見込額4,400百万円に対し収入が15百万円増加し、一方、病院事業費用については、支出見込額4,032百万円に対し支出が80百万円減少したことにより、令和4年度決算における純利益は見込額を96百万円上回る結果となった。

なお、経営強化プラン見込額と実績額の主なる乖離理由は、次のとおりである。

(病院事業収益)

- (1) 医業収益のうち入院収益は1,854百万円と見込んだが、入院患者数及び入院患者一日当り単価がそれぞれ見込額を下回ったため、38百万円の減収となった。
- (2) 医業収益のうち外来収益は1,151百万円と見込んだが、外来患者数は見込人員を下回ったものの、外来患者一人当り単価が上回ったことから、35百万円の増収となった。
- (3) 医業外収益のうち県補助金は620百万円と見込んだが、新型コロナウイルス感染症患者病床確保支援事業補助金等新型コロナウイルス感染症関連補助金の増加により25百万の増収となった。

(病院事業費用)

- (1) 医業費用のうち医師職員を含む職員給与費は2,135百万円と見込んだが、職員給与費全般について支出見込額を下回ったため、43百万円の減少となった。
- (2) 医業費用のうち材料費は775百万円と見込んだが、薬品費、診療材料費ともに支出見込額を下回ったため、17百万円の減少となった。

(3) 医業費用のうち経費は627百万円と見込んだが、委託料、賃借料、燃料費等物件費について節減に努めた結果9百万円の減少となった。

## 2 「公立相馬総合病院経営強化プラン」に掲げる経営指標等の数値目標及び実績

(1) 令和4年度医療機能等指標及び経営指標の目標値並びに実績値は、次のとおりである。

### ① 医療機能等指標

	4年度(目標)	4年度(実績)	比 較
救急患者受入数(人)	7,736	7,311	▲425
新規入院患者受入数(人)	2,936	2,925	▲11
手術件数(件)	756	780	24
リハビリ実施数(単位)	18,176	17,808	▲368
紹介患者数(人)	2,957	2,842	▲115
逆紹介患者数(人)	3,056	3,042	▲14
研修医採用数(人)	5	5	—
地域医療研修受入数(人)	4	4	—

### ② 経営指標

	4年度(目標)	4年度(実績)	比 較
経常収支比率(%)	108.7	111.3	2.6
医業収支比率(%)	84.1	85.4	1.3
修正医業収支比率(%)	81.3	82.6	1.3
資金不足比率(%)	0.0	0.0	—
1日当たり入院患者数(人)	115.4	113.8	▲1.6
1日当たり外来患者数(人)	412.0	408.2	▲3.8
入院患者1日当たり収益(円)	44,000	43,712	▲288
外来患者1日当たり収益(円)	11,500	11,965	465
病床利用率(%)	70.4	69.4	▲1.0
職員給与費に対する修正医業収益比率(%)	68.5	67.4	▲1.1
診療材料費に対する修正医業収益比率(%)	12.1	11.8	▲0.3
薬品費に対する修正医業収益比率(%)	12.7	12.5	▲0.2

## (2) 指標ごとの目標値未達成要因

### ① 医療機能等指標

救急患者受入数他5指標については、入院・外来患者とも経営強化プラン見込患者数を下回ったことにより目標値を達成できなかった。

### ② 経営指標

#### ア 1日当たり入院患者数

外科及び泌尿器科は経営強化プラン見込患者数を上回ったものの、内科、整形外科及び小児科において見込患者数を下回ったことにより目標値を達成できなかった。

#### イ 1日当たり外来患者数

小児科、眼科及び産婦人科は経営強化プラン見込患者数を上回ったものの、その他の診療科において見込患者数を下回ったことにより目標値を達成できなかった。

#### ウ 入院患者1日当たり収益

比較的診療単価の高い内科の入院患者が経営強化プラン見込患者数を下回ったことにより目標値を達成できなかった。

#### エ 病床利用率

内科、整形外科及び小児科において経営強化プラン見込患者数を確保できなかったこと等により見込患者数が下回ったため目標値を達成できなかった。

## 3 点検評価の総括

点検評価に先立ち、事務局から別添【資料1】により令和4年度「公立相馬総合病院経営強化プラン」取組状況について説明があった。

次に、各委員から提起された病院事業に対する意見及び改善を望む事項等及び対応方針は、別添【資料2】のとおりであった。

以上、事務局からの説明、委員会での討議を踏まえ、慎重に審査した結果、当委員会としての点検評価結果は次のとおりである。

令和4年度においては、経営強化プランに掲げる経営指標等の数値目標においては一部未達成となった指標があったものの、黒字決算に伴い懸案であった不良債務が解消されたことは大きな改善効果があったと認められる。

なお、今回点検評価の対象とされる「公立相馬総合病院経営強化プラン」は、これまで取り組んできた「公立相馬総合病院改革プラン」及び「新公立相馬総合病院改革プラン」の改革視点に加え、医師の働き方改革、新興感染症に対する平時からの取組み、加えて、当院利用者の高齢化への対応など新たな課題が追加されている。

これに対し、経営強化プランに定める各種施策の着実な実施を図るため、院内に院長をトップとする「公立相馬総合病院経営強化プラン推進委員会」が設置され職員一丸となって取り組む体制が整備されており、今後の成果が期待される。

最後に、今後とも、公立相馬総合病院が地域の中核病院として地域住民が求める良質な医療サービスを継続的に提供することが求められていることを再認識し、地域住民の要望実現のため、全職員が英知を結集し、健全な経営体質への転換、更なる患者サービスの向上を目指し「公立相馬総合病院経営強化プラン」に掲げる各種施策への積極的な取組みを願うものである。

加えて、点検評価に際し、各委員から出された意見・要望等についても、今後の病院運営にあたり留意のうえ執行されたい。